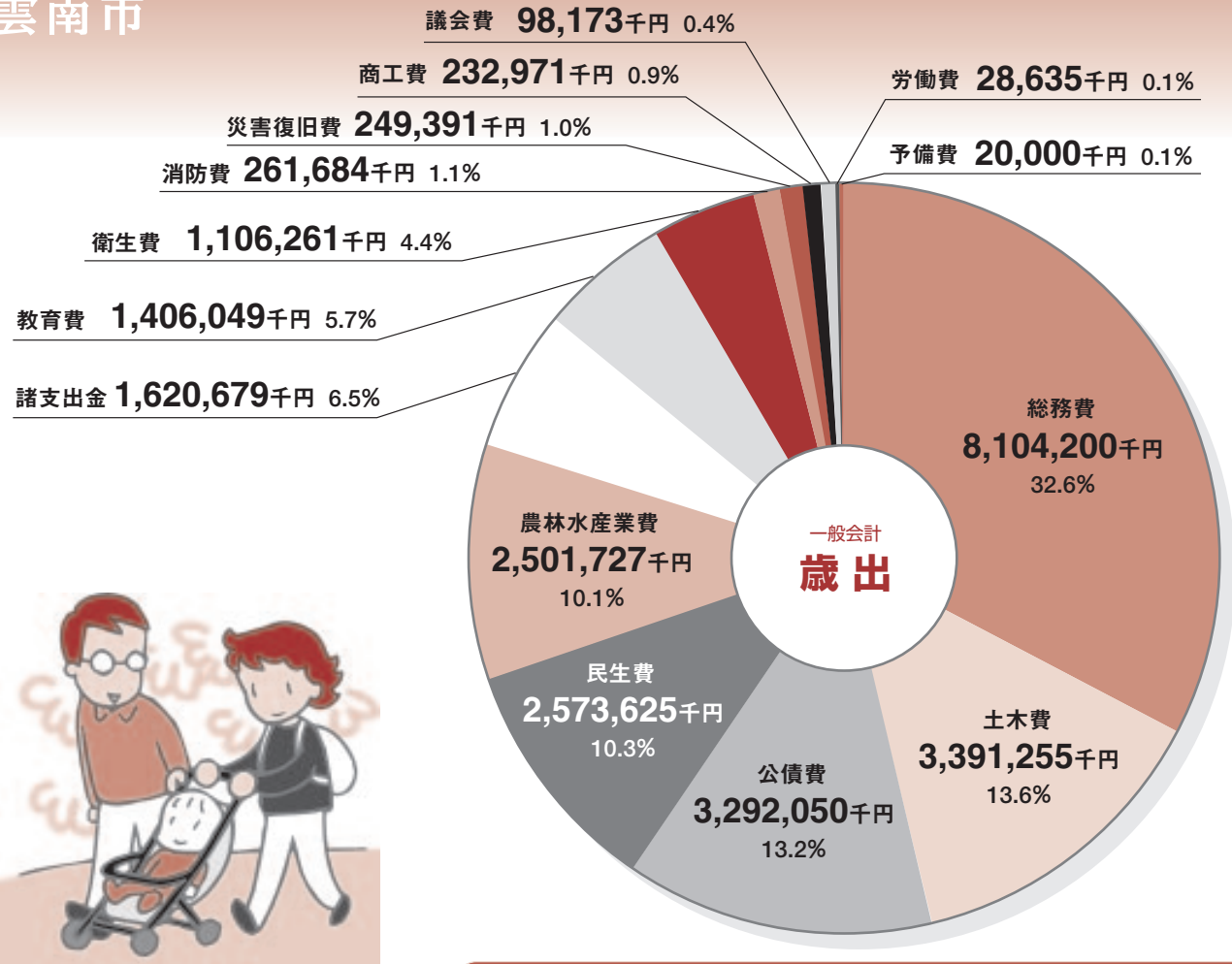




いのち
生命と神話が息づく
新しい日本のふるさとづくり

雲南市

平成16年度



特別会計

会計の名称		当初予算額
国民健康保険事業	事業勘定分	2,149,600
	診療施設勘定分	146,600
簡易水道事業		590,000
老人保健		2,900,200
農業労働災害共済事業		2,310
生活排水処理事業		2,769,900
幡屋財産区		13,500
阿用財産区		2,910
ゆとりの里事業		23,350
土地区画整理事業		558,800
ダム対策事業		16,310
発電所事業		27,900
清風荘事業		48,000

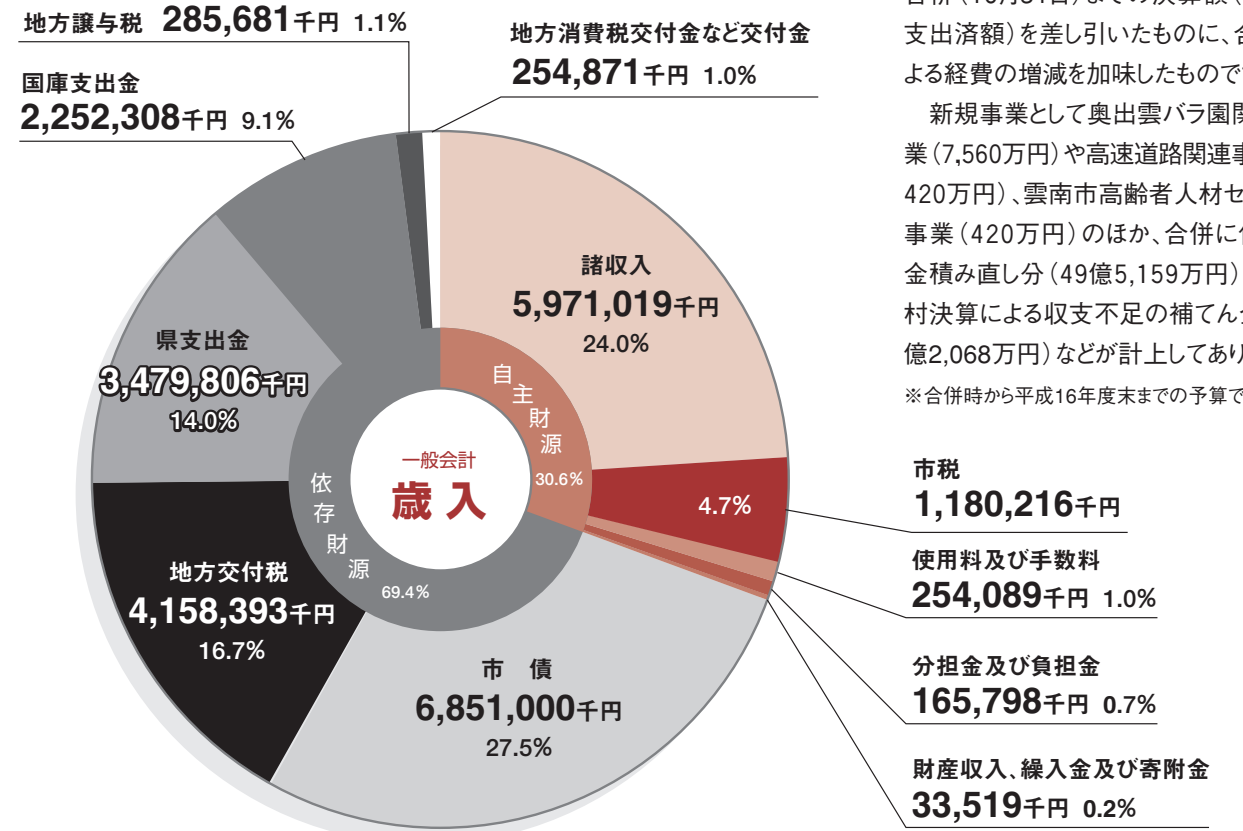
(単位:千円)

市民1人あたりの歳出額 (平成16年12月1日現在の人口で除したもの) 合併時～平成16年度末



雲南市予算概要

一般会計 当初予算 総額 24,886,700千円



市民1人あたりの歳入予算額 (平成16年12月1日現在の人口で除したもの) 合併時～平成16年度末 540千円



歳入
みなさんから納めていただく市税(市民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税・入湯税)のほか、預金利子や貸付金元利収入などの諸収入、地方交付税(市町村の税収入格差を調整するため国から交付される交付金)や地方譲与税(国税として徴収された後、市に譲与される税)、市債(市の借入金、国や県からの支出金などで構成されています)。

歳出
総務費(行政管理事務に関する経費)や公債費(地方債や一時借入金の利子などの償還金)、土木費(道路や河川の整備・維持管理費など)、民生費(社会福祉に関する経費)、農林水産業費(農林漁業の振興、生産基盤整備のための経費)、教育費(学校教育の充実、文化・スポーツの振興のため)の事業費、衛生費(保健や医療、ごみ処理に係る事業費など)を計上しています。

一般会計は、福祉、土木、教育など私たちの生活に最も関わりがある基本的な経費です。また、一般会計と区別して処理する会計として特別会計があり国民健康保険事業、老人保健事業など12の特別会計があります。

平成16年度予算について

平成16年度の雲南市予算は、今年度旧町村で編成された年間の予算から合併(10月31日)までの決算額(収入・支出済額)を差し引いたものに、合併による経費の増減を加味したものです。新規事業として奥出雲バラ園関連事業(7,560万円)や高速道路関連事業(1,420万円)、雲南市高齢者人材センター事業(420万円)のほか、合併に伴う基金積み直し分(49億5,159万円)、旧町村決算による収支不足の補てん金(16億2,068万円)などが計上してあります。 ※合併時から平成16年度末までの予算です。